



みそあじ通信

【教育目標】

☆自ら進んでよく学び、よく働く生徒

☆心身共に健康で粘り強い生徒

☆豊かな個性を育て社会に役立つ生徒

本物に触れる

校長 山 田 尚 孝

「仮想現実」という言葉を聞いたことがありますか？

「ヴァーチャルリアリティ（Virtual Reality 略してVR）」という言葉の方が伝わるかもしれません。CG や実写の映像世界に入り込むことで、家にいながら現地に行ったような感覚を得られる技術です。その技術の進歩は目覚ましいものがあり、例えば時間がなくてなかなか現地に行けなくてもヴァーチャル旅行でそこに行った感覚になることもできたり、絶対に行くことにできない歴史的な場面や2次元のゲームの世界に身をおくこともできたりします。また、いざというときの落ち着いた行動につながるように、災害を想定した場면을VRで体験することもできる等、現在ではヴァーチャルの世界であらゆることが体験できます。

今回生徒たちは、通常の教室での授業では体験できないような校外へ出での活動を行いました。都内巡り、林間学校、修学旅行。各学年それぞれ狙いは違いますが、共通していたのは本物に触れること、自分たちで行動すること、そして楽しむことでした。歴史と風情ある街で当時の状況を想像しながら歴史的建造物を見る。雄大な大自然の中で一步一步大地を踏みしめながら自然の素晴らしさ体験する。自分たちで考えたコースをまわりガイドブックで見たものを目に焼き付けていく。やはり、自分で考えて動いて、自分の足で歩いて、自分の目で見て、自分の手で触れていく。どんなに技術が進歩しても、VRが本物を超えることはないと思っています。

あくまでもVRは「仮想」であり「感覚」であり、見せたいものや理解させたいものを強烈なインパクトとともに強調し、意図的に人間が作り上げた想像の世界であり、それがすべてで本物だと信じ込んでしまう方が危険な気がします。だからこそ、中学生のうちに本物に触れる機会を増やしていくことで多くの人とかかわり、社会を生き抜く力が身に付き、五感を働かせることで豊かな感性が研ぎ澄まされていくのだと考えます。

3年修学旅行 in 奈良・京都

9月23日（土）からの2泊3日、3年生は奈良・京都への修学旅行に行ってきました。学年スローガン『The Grand Finale～学年全員で最高の修学旅行～』のもと天候にも恵まれ、東中生としてとても立派な態度で有意義な3日間になりました。3年生には、「自分が楽しむのはもちろんですが、仲間も楽しめ、そして、添乗員さん、バスの運転手さんやガイドさん、看護師やカメラマン、宿の方等々、この修学旅行を支えてくれているスタッフのみなさんにも東中生が来てくれてよかった、一緒にかかわれてよかったと思ってもらえるような修学旅行にしてほしい。それがスローガンの達成につながる。」と話しましたが、彼らはそれを実現してくれました。特に、宿の方からは「みなさん本当にいい表情で参加されていて、少しでもそのお手伝いができてうれしいです。」と言ってくれたり、3日目のタクシー班行動の運転手さんからは、「みんな挨拶もできるし、とても気持ちよくまわることができました！」と褒めていただくこともあったり、さすが3年生！と思わせる場面が多かったのがとても印象的です。



2 年林間学校 in 蓼科

10月11日(水)からの2泊3日は2年生の蓼科林間学校でした。『仲間とを感じる達成感～感じろ自然の雄大さ～』という学年スローガンのもと、牧場での乳しぼり体験やトラクター体験、大自然の中でのトレッキングやキャンプファイヤー、そして飯盒炊爨、定番の林間学校かもしれないけれど、今回は逆にそれがとても新鮮でした。それは生徒の笑顔からも伝わってくるものでした。2日目のキャンプファイヤーのときに山から下りてきた火の神の言葉にもありましたが、今回の林間学校を素敵な思い出として心の中でいつまでも覚えていてほしいですし、この経験を通して周囲の人に対しても優しくできるようになってほしいと願っています。



1 年都内巡り on 校外学習

10月20日(金)は1年生初の校外学習で、都内巡りを実施しました。スローガンは「夢のまた夢の都心 こんな大冒険逃したら一生後悔すぞ!」でした。こちらで準備したのは6ヶ所の昼食場所だけ(農林水産省やJICA、区役所等)。あとは各班でコースを決め、公共のマナーを守りながら計画した通りのコースをまわっていきます。今回はしおりの多くをペーパーレスでタブレット版にしたり、班行動の報告をTeamsで行わせたりと、デジタル化を進めました。

「次の見学地、15分遅れになります。見学時間で調整してその次の場所には予定時間通りの到着になります」

「はぐれてしまったので、本隊は次の駅で待ちます」

「天候の影響で入ることができないため、払い戻しをして次の見学地へ行くので30分早くなります」

これは班長からの連絡の一部ですが、1年生のその対応力にとっても驚きました。トラブルが起きたときに先生方の指示を聞くのはもちろん大切ですが、まずはどうしたらいいかを考え、それを連絡・相談することは、実は社会に出てからとても役に立つスキルのひとつなのです。報告・連絡・相談をすることをホウレンソウと言ったりします。ホウレンソウができたり、公共のマナーが守れたり、自分から楽しむことができたりして、みなさんの成長するきっかけになれば、今回の大冒険(都内巡り)は大成功です。



HP での情報発信

今回の行事でも、随時学校ホームページにて生徒の様子をお知らせしていきました。たくさん閲覧をしていただきありがとうございました。これからも、行事はもちろんのこと、授業の様子や班活動等、日頃の学校生活の様子を掲載していきますので、ご覧いただければと思います。

[江戸川区立東葛西中学校のトップページ \(schoolweb.ne.jp/\)](http://schoolweb.ne.jp/)

